

乗合タクシー利用改善署名進む



米原市民報

日本共産党米原市議団
清水隆徳 Tel 52-1969
藤田正雄 Tel 55-1128
太田幸代 Tel 54-2286

<http://www.jcp-maibarashigidan.com>

すべての地域で乗合タクシーの実施。利用しやすい「まいちゃん号」「カモン号」へ

12月14日に開催された「乗合タクシー制度の利用改善を求める会」(会長・亀田友子三吉自治会長)の結成集会で、署名活動が提起され、米原市内すべての自治体に署名簿が届けられました。事務局長の富田茂(東番場自治会)さんの話により、多くの自治会で署名が取り組まれ、すでに千人以上の署名簿が寄せられており、2月の市長への提出までまだ多くの自治会で署名が取り組まれる予定とのことです。是非まだの自治会は至急取り組んでいただきたいとのことでした。

高齢化がすすむ中 公共交通問題は重大

最近、高齢者の運転する自動車重大な交通事故を引き起こす事例がたくさん報道されています。特に認知症を疑われるケースも発生しています。警察庁によると、昨年8月までの2年間は447件。約7割が65歳以上の運転者でした。そのうち認知症の人あるいは認知症が疑われる人は、約4割にのぼるといわれます。また身体機能の低下による事故も多く発生しています。改正道路交通法により、75歳以上の運転者が「逆走」や「信号無視」などの交通違反を犯し「認知症の恐れがある」と判定された場合には、認知機能検査を義務づけることとなりました。

事前登録が必要 初回登録は市役所管轄へ

利用するためには、事前登録が必要です。この登録は1回のみです。米原市役所各庁舎窓口で登録ができます。また時刻表・路線図も準備していますので受け取って下さい。利用については、電話で予約センター(62-0106・近江タクシー)にお尋ね下さい。

しかし認知症高齢者の自動車運転による事故は後を絶たず、認知症と診断されながら車の運転を続けている人は、予想以上に多いとみられています。とくにそれは、ほかに交通手段のない地方で顕著であるといわれています。免許の返納制度もありますが、現在の公共交通の状況では進んでいません。

署名に協力を

要求署名に協力していただける方は、事務局長の富田茂(54-0901)さんまで連絡下さい。

なにが問題なのか

現在の米原の「デマンドタクシー」ですが「まいちゃん号」は、旧米原町と旧近

みんなので乗って 公共交通問題を考えよう

このような中で現在、市においては、乗合タクシー運用の地域拡大や方式の統一化がすすめられています。しかし、少しでも多くも市



雑感「ポスト真実」という言葉が飛び交っています。イギリスのオックスフォード大学が今年の言葉として選んだものです。アメリカの大統領選挙で「トランプ氏」の発言のほぼ半分以上がこの「ポスト真実」だといわれています。嘘いつわりを繰り返す人々を扇動して、政治を動かそうとするものを言うそうです。これらの例は、安倍首相も同様です。「原発事故は完全にコントロールされている」「南スーダンには落ち首はいる」「わが党は強行採決したことではない」などと。これらの手法は、「維新の橋下氏」も同じ。確かに大なり小なり、これを真似る議員も存在する。